

目 次

推薦文 山田光胤 i

序章 私と漢方 1

第1章 症状からみる漢方治療 9

かぜ・咳	11
頭痛	29
不眠症	35
皮膚疾患	41
冷え症	55
腹満と便秘	62
下痢	80
膀胱炎様症状	96
ぎっくり腰	101

第2章 方剤からみる漢方治療 105

気虚の主方	107
四物湯とその加減方	114
痰飲証と二陳湯	120
四逆散の時代がやってきた	125
加味逍遙散と抑肝散の違い	135

駆瘀血剤について	149
エキス剤にない方剤をどうするか	154
第3章 漢方の味わい 165	
『傷寒論』はウソをつかない	167
病名にこだわらない	173
腹診の技術を磨く	179
一味の加減	185
左と右と漢方薬	191
異病同治——四逆散と桂枝茯苓丸を用いた4例	200
同病異治	205
裏寒の治療	208
併病について	213
「表の証」と「裏の証」	220
西洋薬にも証がある	225
NSAIDsの副作用と漢方薬	229
現代の口訣を追試する	235
食生活にも気配りを	240
私の愛読書——『中薬の配合』	244
あとがき	251
索引	252